資料２

介護保険事業等に係る意見交換等の結果

●意見交換等実施日

令和２年９月１７日（木）～９月２３日（水）

●対象事業所数

９事業所（介護保険サービス等提供事業所）

２事業所につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として部外者との面談制限があり、実施できませんでした。

１　介護保険事業の運営状況について

（１）在宅系サービス

・通所介護（デイサービス）は全体的に利用者が減少している。
（ただし、利用者が増加していると回答される事業所もある。）

・訪問介護（ヘルパー）は、ニーズがあっても体制等の課題があり、対応が困難な場合もある。

（２）入所系サービス

・特別養護老人ホーム・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・サポートハウスは満床の状況。

・特別養護老人ホームの待機者は減ってきている。

・介護老人保健施設（老健）・介護療養型医療施設はおおむね満床であるが若干空きあり。

２　介護サービス提供事業所における課題等

（１）人材の確保に関すること

・常に職員を募集をしているが、連絡が全くない状況。

・有資格者（ケアマネジャー等）の確保が難しい。

・職員が高齢化しており、十年後が不安である。

・職員の意識向上やスキルアップが必要である。

・運営基準はクリアできているが、欠勤等があれば厳しくなる。　　など

（２）利用者の確保に関すること

・在宅より施設系サービスのニーズが高くなっている。（独居や家族が遠方である等、家族介護力の低下が要因と考えられる。）
・通所介護（デイサービス）の利用者が減ってきている。
・入所施設において、利用者の入院等が決まった場合に空きがでてしまう。
・ショートステイの利用者は、入所待ちの方が多い。
・バルーンや胃ろう等医療行為がある利用者が増えてきている。　　など

（３）建物等に関すること

・建物が老朽化し、修繕が増えている。
・車両の老朽化が進んでいる。

３　新型コロナウイルス感染症の影響について

・事業を休止した。
・利用控えやキャンセルがあり、収入が減少した。
・新規利用を控えてもらったことから、収入が減少した。
・地域貢献ができない。交流事業ができないため地域の実情が分からない。
・病院の受診控えがあり、外出支援サービスが激減した。
・外国人を雇用する予定であったが、中止になった。　　など

４　今後の事業展開について

・全体として、現在の事業を維持するという意見が多かった。
・利用者や高齢者人口等の状況を見極めながらであるが、中長期的に規模を縮小する。
・高齢者にも給料が入るカフェを開設する。